

## Indicators Update

2012年5月23日 全11頁

# 4月貿易統計～貿易収支の赤字基調が継続

経済調査部 エコノミスト 長内 智

## 欧州リスクが再度高まる

### [要約]

- **【概況】貿易収支の赤字幅が拡大**：2012年4月の貿易統計は、貿易収支の赤字基調の継続や財政問題を抱えるEU向け輸出の低迷など、先行き不透明感が残る内容であった。4月の輸出金額は前年比+7.9%と市場コンセンサスを下回ったものの、東日本大震災によって昨年大きく落ち込んだ反動増の影響でプラス幅が拡大した。貿易収支は▲5,203億円と2ヶ月連続の赤字となった。
- **【地域・品目別動向(名目)】米国向けが好調を維持**：主要品目別にみると、輸出が増加した業種では、昨年の落ち込みからの反動によって「輸送用機器」が前年比+81.9%と3ヶ月連続で増加し、プラス幅も前月から大きく拡大した点が注目される。他方、アジア地域で景気減速感が強まっていることやEU向けの低迷を受けて、「化学製品」は前年比▲16.1%と8ヶ月連続の減少となった。主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比+42.9%、EU向けが同▲1.9%、アジア向けが同▲2.6%となった。
- **【今後の見通し】EU向け輸出に下振れリスク**：輸出は、横ばい圏での動きがしばらく継続すると考えている。緩やかに景気回復が続く米国向け輸出は底堅く推移する見込みであり、金融緩和と政策による景気下支え効果が今後期待される新興国向けの輸出は徐々に改善していくと想定する。他方、5月に実施されたギリシャ総選挙の結果に起因して、欧州債務問題が再燃しているため、低迷が続くEU向け輸出については下振れリスクが高まっている。また、当社の貿易収支の長期見通しでは、貿易赤字は徐々に縮小して、黒字基調に復していくことを見込む。

## 【概況】貿易収支の赤字幅が拡大

### 輸出は2ヶ月連続のプラス

2012年4月の貿易統計は、貿易収支の赤字基調の継続や財政問題を抱えるEU向け輸出の低迷など、先行き不透明感が残る内容であった。4月の輸出金額は前年比+7.9%と市場コンセンサス（同+11.8%）を下回ったものの、東日本大震災によって昨年大きく落ち込んだ反動増の影響でプラス幅が拡大した。輸出金額の基調を捉えるために季節調整値（3ヶ月移動平均）をみると、前月比+1.4%と3ヶ月連続のプラスと堅調な推移が続く。そのため、輸出は好調な米国向けを支えにして回復軌道を進んでいたと評価できる。4月の輸入金額は、資源価格の高止まりと原子力発電所事故・稼働停止問題に伴う代替燃料の需要増加によって、前年比+8.0%と28ヶ月連続で増加した。

### 長引く貿易赤字

この結果、貿易収支は▲5,203億円と2ヶ月連続の赤字となった。また、貿易収支の季節調整値をみると、貿易赤字は震災の発生した2011年3月から14ヶ月連続となり、かなり長引いていることが確認できる。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）～ 輸入数量の伸びに一服感

	2011年								2012年			4月
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
輸出金額	▲10.3	▲1.6	▲3.3	2.8	2.3	▲3.8	▲4.5	▲8.0	▲9.2	▲2.7	5.9	7.9
コンセンサス												11.8
DIR予想												13.6
輸入金額	12.4	9.9	9.9	19.2	12.2	17.9	11.5	8.2	9.6	9.3	10.6	8.0
輸出数量	▲10.5	▲2.6	▲5.2	0.9	1.4	▲4.0	▲4.4	▲6.6	▲10.1	▲3.8	3.7	4.7
価格	0.2	1.0	2.0	1.9	0.9	0.2	▲0.1	▲1.5	1.0	1.2	2.1	3.1
輸入数量	5.5	1.7	▲2.6	6.1	1.0	6.0	▲1.0	▲0.7	3.1	3.2	3.1	1.9
価格	6.5	8.0	12.8	12.4	11.1	11.3	12.5	8.9	6.3	5.9	7.2	6.0
貿易収支	▲8,607	645	697	▲7,775	2,888	▲2,830	▲6,912	▲2,083	▲14,815	254	▲845	▲5,203

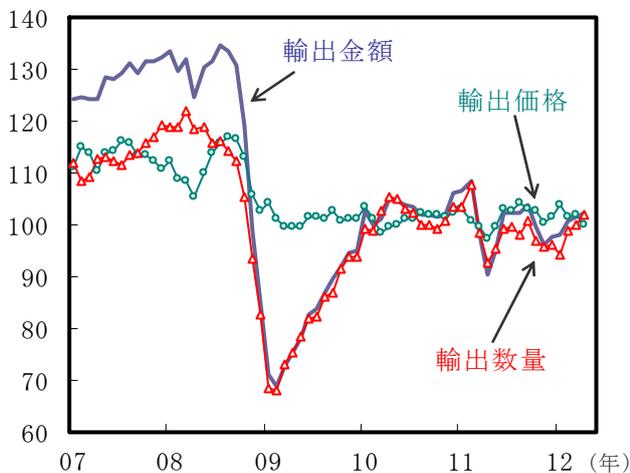
(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

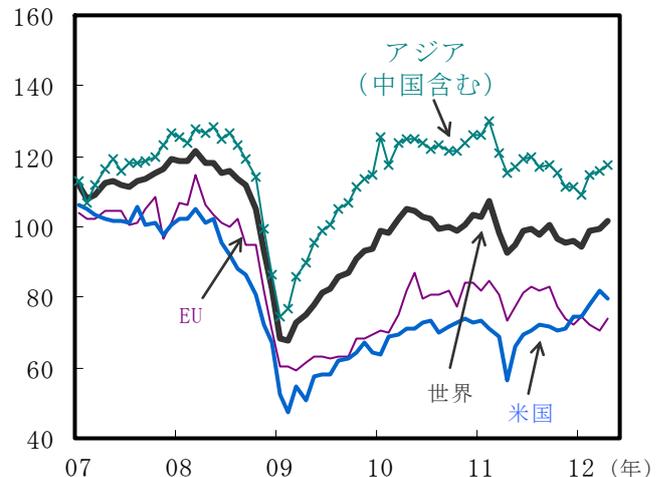
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表2：輸出金額・数量・価格と地域別輸出数量の推移（季節調整値）～ 輸出数量は改善基調

(2005年=100) 金額・数量・価格



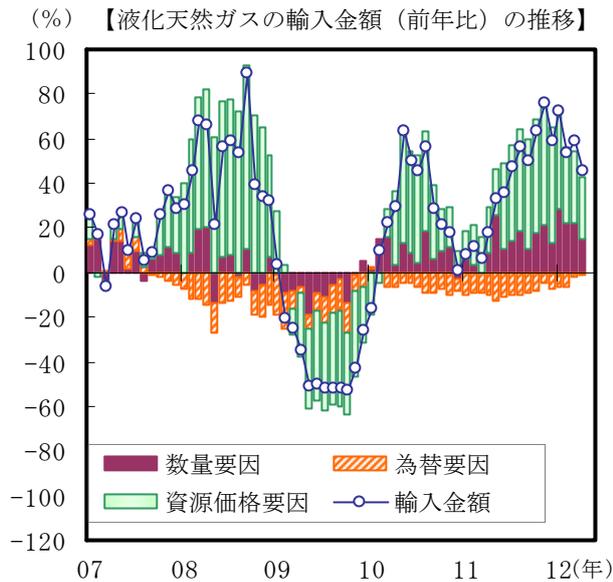
(2005年=100) 地域別の数量指数



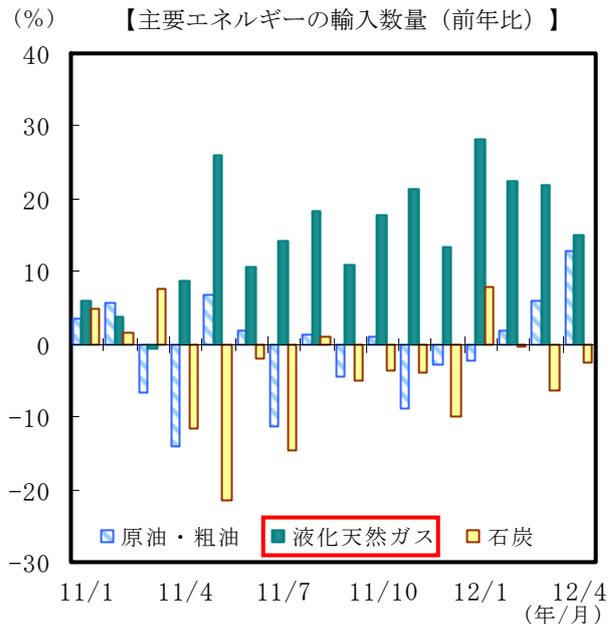
(注) 季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 液化天然ガスの輸入金額と主要エネルギーの輸入数量 (前年比)



(注) 近似誤差により要因の合計は、全体と一致しない。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成



(出所) 財務省統計より大和総研作成

### 【地域・品目別動向(名目)】 米国向けが好調を維持

#### 輸送用機器は堅調に推移

主要品目別にみると、輸出が増加した業種では、昨年の落ち込みからの反動によって「輸送用機器」が前年比+81.9%と3ヶ月連続で増加し、プラス幅も前月(同+25.41%)から大きく拡大した点が注目される。また、足下の「輸送用機器」は、米国向け輸出の拡大に牽引されて、大震災が発生する前の2010年の水準を上回って推移するなど堅調な状況が続いている。他方、アジア地域で景気減速感が強まっていることやEU向けの低迷を受けて、「化学製品」は前年比▲16.1%と8ヶ月連続の減少となった。また、3月に改善の兆しがみられた「電気機器」は、アジア向け輸出が弱含んだため、前年比▲1.4%と小幅ながらもマイナスとなった。「一般機械」は米国向けが堅調である一方、EU向けとアジア向けが低迷したことで、2ヶ月振りのマイナスとなった。輸入については、代替燃料の需要増加と価格高止まりを背景に、「液化天然ガス」の輸入金額が前年比+45.7%、輸入数量が同+14.9%と揃って大幅に増加した。

#### EU向けが低迷

主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比+42.9%(3月、同+23.9%)、EU向けが同▲1.9%(3月、同▲9.7%)、アジア向けが同▲2.6%(2月、同+0.5%)となった。経済の緩やかな回復が続く米国向け輸出は6ヶ月連続のプラスと好調を維持した。財政問題を抱えるEU向け輸出は小幅ながらも7ヶ月連続のマイナスと低迷が続く。アジア向けは、経済減速の影響によって2ヶ月振りのマイナスとなり、先行き不透明感が幾分強まる結果となった。特に、中国向けが前年比▲7.1%と前月(同▲5.9%)よりもマイナス幅が拡大した点に注意したい。

## 【今後の見通し】EU 向け輸出に下振れリスク

### 輸出はしばらく横ばい圏で推移

輸出は、横ばい圏での動きがしばらく継続すると考えている。緩やかに景気回復が続く米国向け輸出は底堅く推移する見込みであり、金融緩和政策による景気下支え効果が今後期待される新興国向けの輸出は徐々に改善していくと想定する。他方、5月に実施されたギリシャ総選挙の結果に起因して、欧州債務問題が再燃しているため、低迷が続く EU 向け輸出については下振れリスクが高まっている。日本の EU 向け輸出は輸出全体に対して 2011 年通年で 1 割強に留まるが、欧州債務問題は日本の輸出に対して複合的な影響をもたらす点に留意が必要であろう。具体的には、欧州債務問題が日本の輸出に対して悪影響を及ぼす経路として、①欧州金融不安の高まりを背景とする円高進行、②欧州の信用収縮に伴う世界経済の悪化、③EU 向け輸出の減速による新興国経済の急減速、の 3 点が指摘できる。

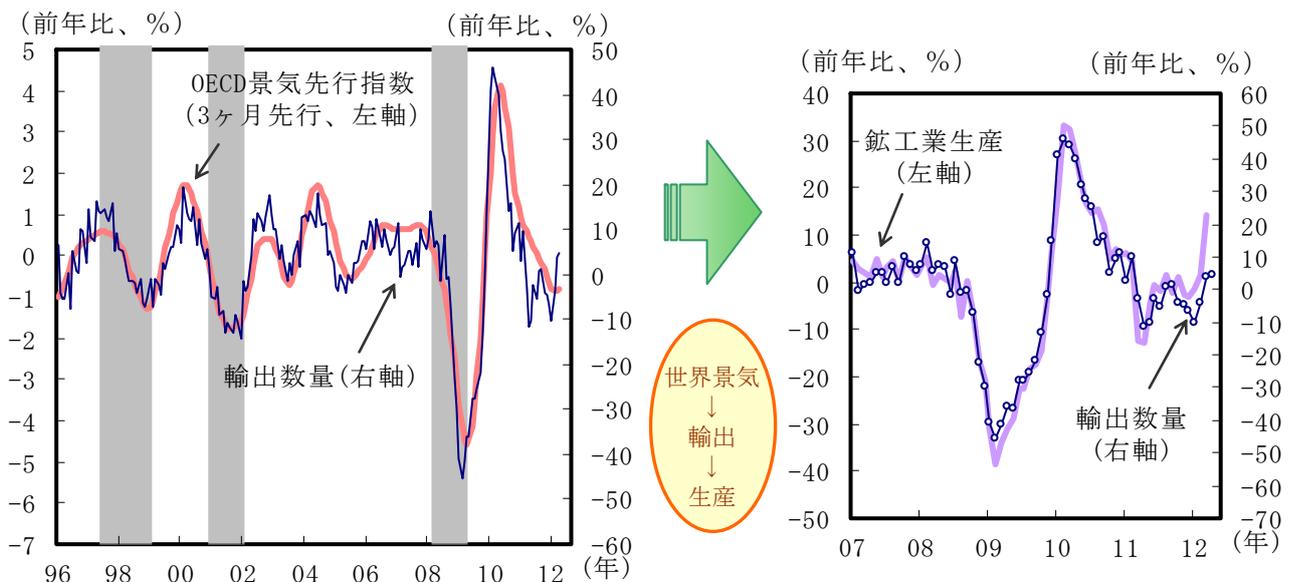
### リスク回避の動きで資源価格が調整

輸入は、資源価格の高止まりと原発の稼働停止に伴う代替燃料の輸入量の増加を背景に、緩やかな増加基調が継続する見通しである。ただし、欧州債務問題が再燃した後にリスク回避の動きが強まって資源価格が調整したことから、資源価格による輸入押し上げ効果は次第に減衰することが見込まれる。輸出が横ばい圏で推移し、輸入が高い水準を維持する結果、貿易収支の赤字基調はしばらく継続すると考える。

### 足下では欧州財務問題が最大のリスク要因

また、当社の貿易収支の長期見通しでは、貿易赤字は徐々に縮小して、黒字基調に復していくことを見込む(図表 5)。しかし、世界経済の減速、原油価格の上昇、円高の進行などのリスク要因を考慮すると、貿易赤字幅が急速に拡大するケースが生じるという結果も得られた。足下の経済情勢を踏まえると、欧州債務問題の悪化に伴う世界経済の減速が、日本の貿易収支に対する最大のリスク要因だと考えている。

図表 4 : OECD 景気先行指数・輸出数量・鉱工業生産指数

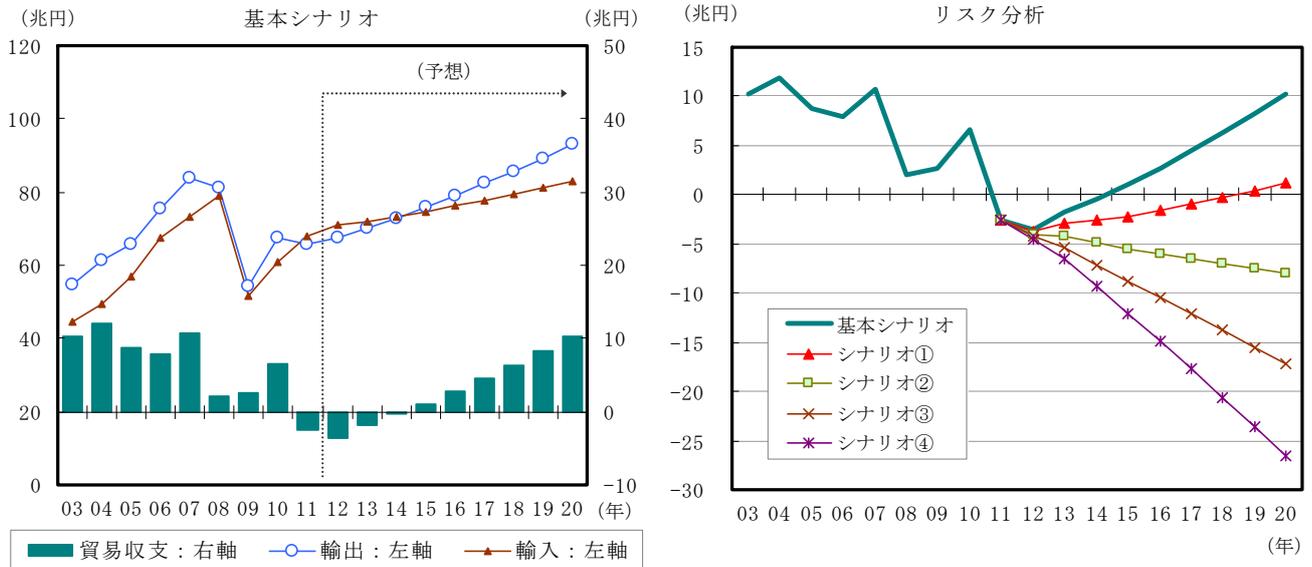


(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) シャドウは景気後退局面。

(出所) 財務省、経済産業省、OECD統計より大和総研作成

図表 5 : 貿易収支 (通関ベース) の長期見通し



(出所) 各種統計より大和総研作成

< 貿易収支の推計方法の概要 >

1. 輸出数量、輸出価格、輸入数量、輸入価格を、それぞれ回帰モデルで推計して通関ベースの貿易収支を作成。

< 基本シナリオの予測期間の主な前提 >

1. 為替レートは80円/ドルで一定。
2. WTI原油先物価格が100ドル/バレルで一定。
3. 貿易加重世界成長率は2005年の輸出金額とIMFの世界経済見通し(WEO)を基に算出。
4. 実質国内需要の伸び率は2000年1Q~2011年4Qの平均値を利用。

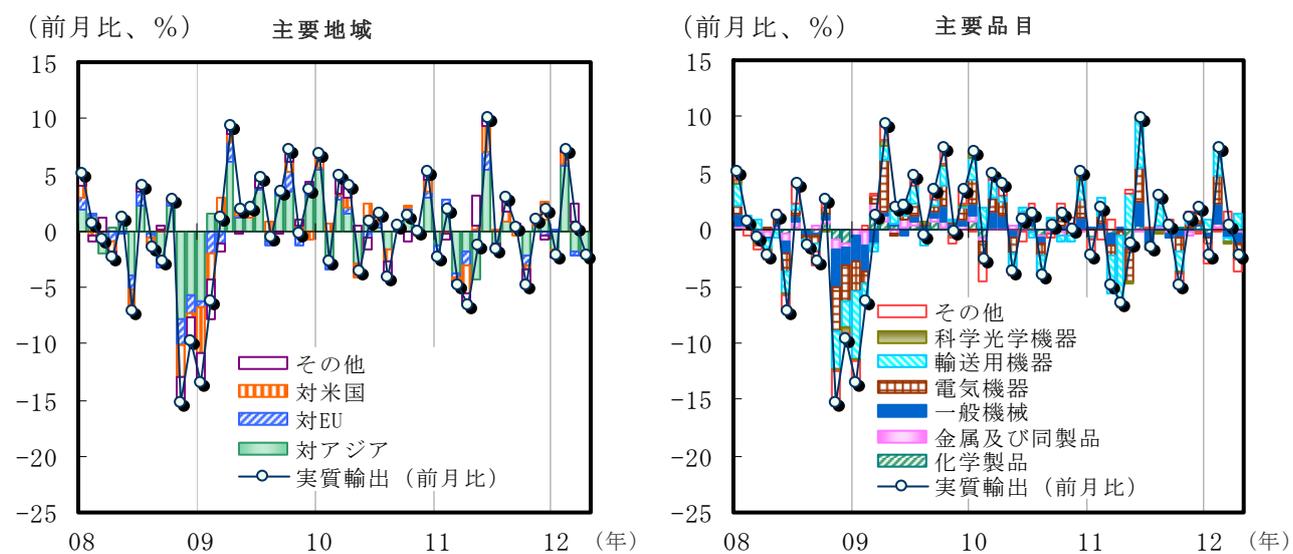
主要前提

		基本シナリオ	シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③	シナリオ④
円/ドル	2012年2Q	80円/ドル	80円/ドル	80円/ドル	80円/ドル	80円/ドル
	2020年4Q	80円/ドル	75円/ドル	70円/ドル	65円/ドル	60円/ドル
WTI原油先物価格	2012年2Q	100ドル/バレル	100ドル/バレル	100ドル/バレル	100ドル/バレル	100ドル/バレル
	2020年4Q	100ドル/バレル	125ドル/バレル	150ドル/バレル	175ドル/バレル	200ドル/バレル
貿易加重世界成長率		IMFの世界経済見通しを元に作成	基本シナリオから0.5%pt下振れ	基本シナリオから1.0%pt下振れ	基本シナリオから1.5%pt下振れ	基本シナリオから2.0%pt下振れ

【参考】 実質輸出の動向

実質輸出 (季節調整値、当社試算) は、前月比▲2.2%と3ヶ月振りのマイナスとなった。主要国・地域別では、米国向けが前月比▲1.2%、EU向けが同▲0.9%、アジア向けが同▲3.2%となった。米国向けは「輸送機械」や「一般機械」が堅調に推移した一方、「電気機器」は前月に大幅に増加した反動減が出たことで、5ヶ月振りのマイナスとなった。アジア向けは「一般機械」、「電気機器」の減少が全体を押し下げ、2ヶ月連続のマイナスとなった。EU向けは、財政金融問題に起因する実体経済の軟化を背景に、2ヶ月連続のマイナスとなった。

図表 6 : 実質輸出 (季節調整済み前月比) の主要項目別の寄与度



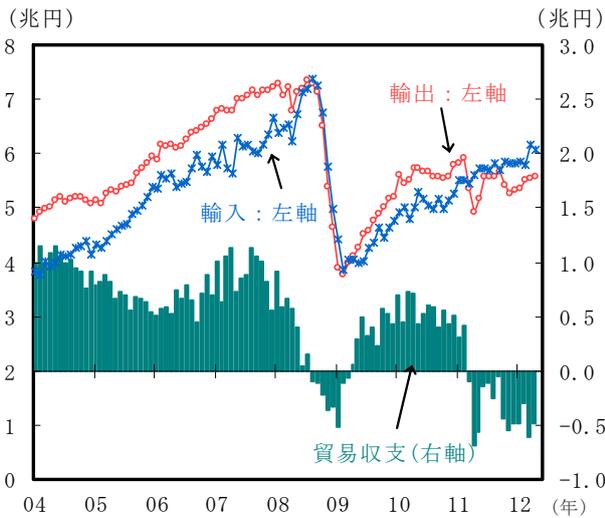
(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

**概況**

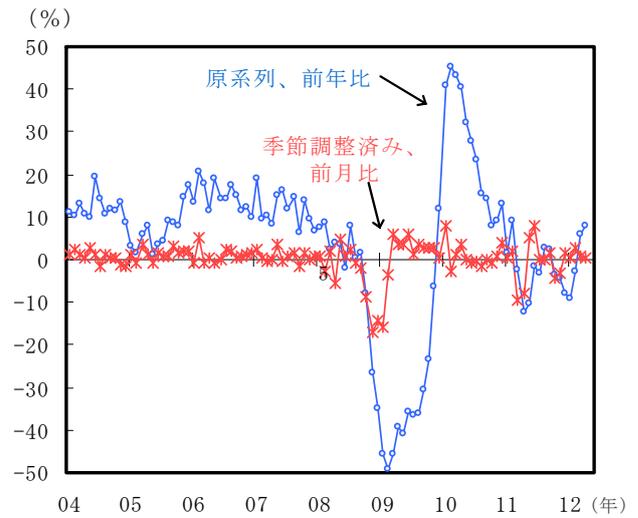
貿易収支の赤字基調が継続

**輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）**

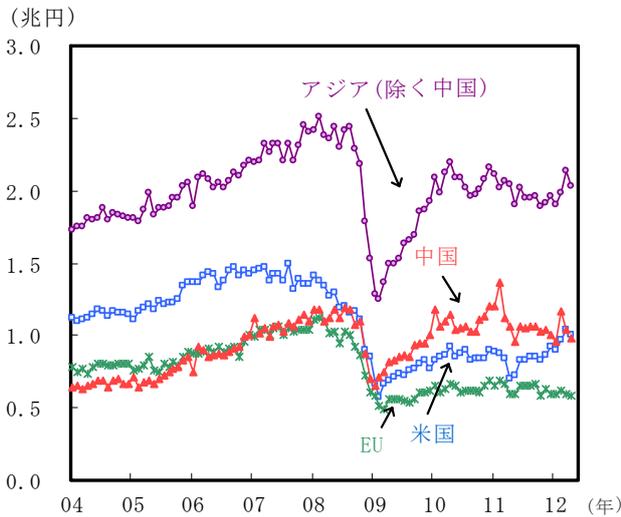


(出所) 財務省統計より大和総研作成

**輸出額の変化率（名目）**

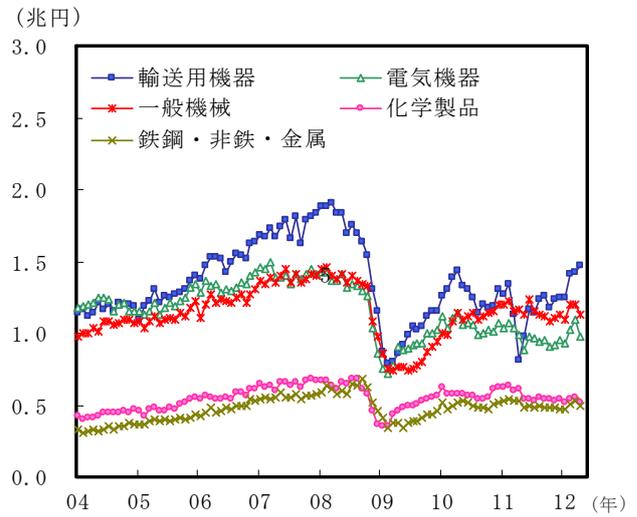


**主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）**

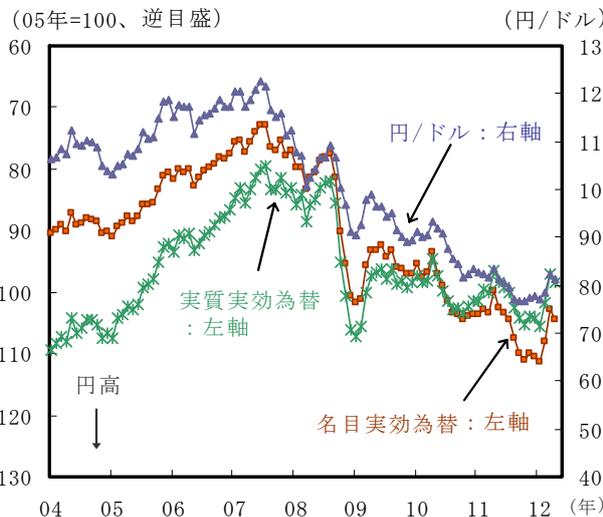


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

**主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）**

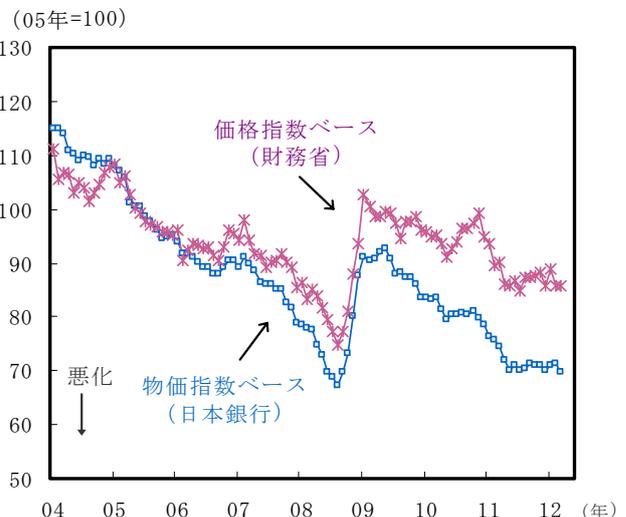


**為替相場**



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸物価指数/輸入物価指数）。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

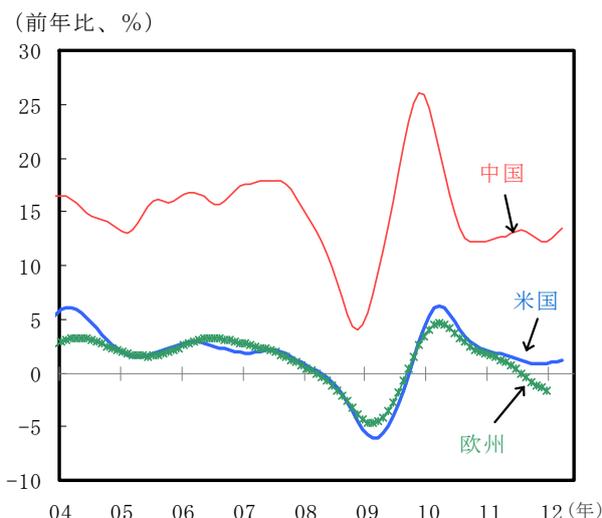
**交易条件**



海外環境

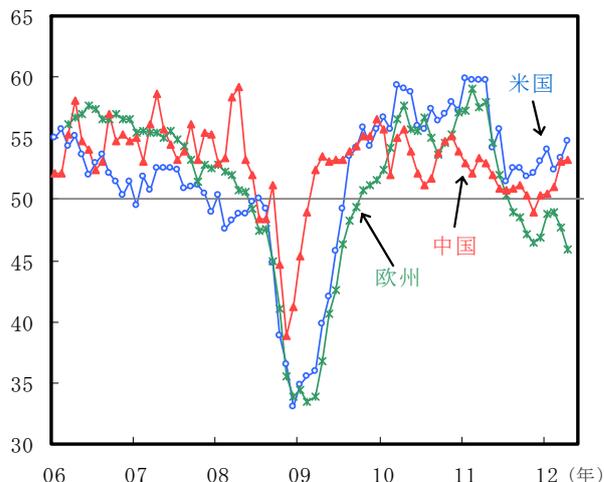
製造業のPMIで欧州の減速が顕著

OECDの景気先行指数（米国・中国・欧州）

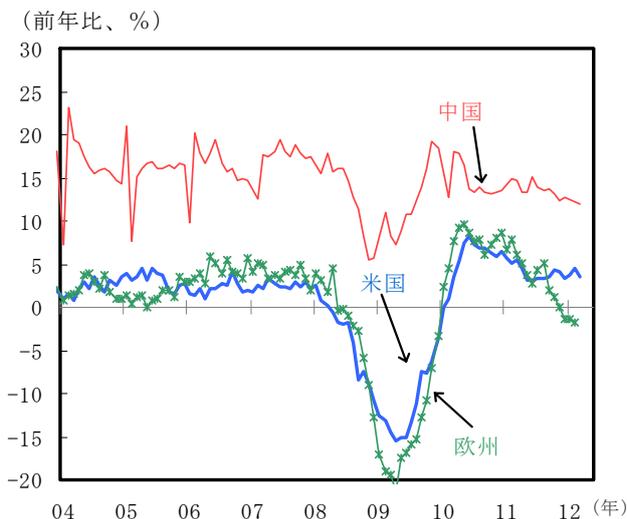


(注) 景気先行指数はトレンドを含むベース。  
(出所) OECD、米ISM、中国物流購買連合会、Markitより大和総研作成

製造業PMI（米国・中国・欧州）

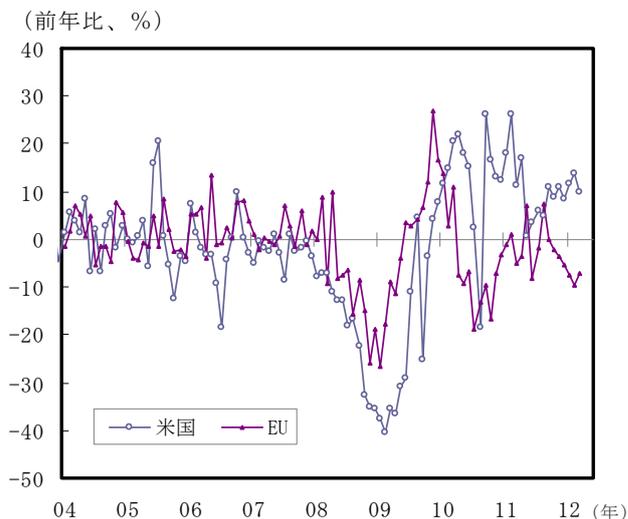


鉱工業生産指数（米国・中国・欧州）

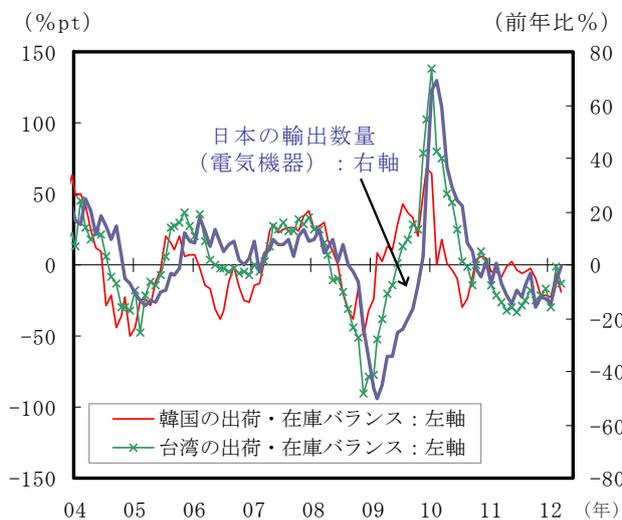


(出所) 中国国家统计局、Eurostat、FRB、オートデータ社、欧州自動車工業会(ACEA)より大和総研作成

米国と欧州の自動車販売

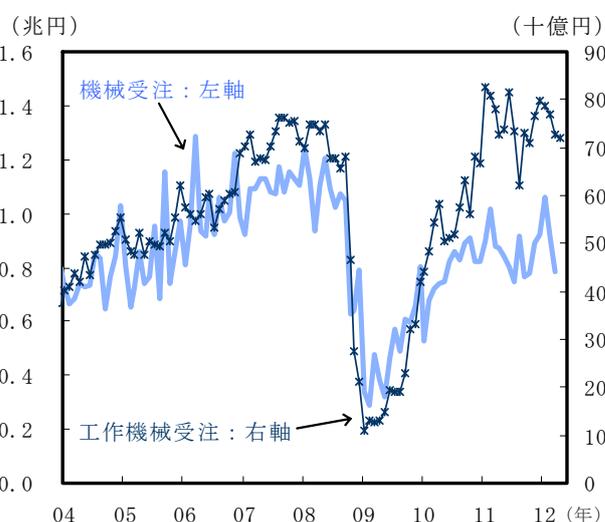


韓国・台湾の出荷・在庫バランス（電子部品）



(注) 工作機械受注の季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省、内閣府、日本工作機械工業会統計、CEICより大和総研作成

機械受注と工作機械受注の外需（季節調整値）

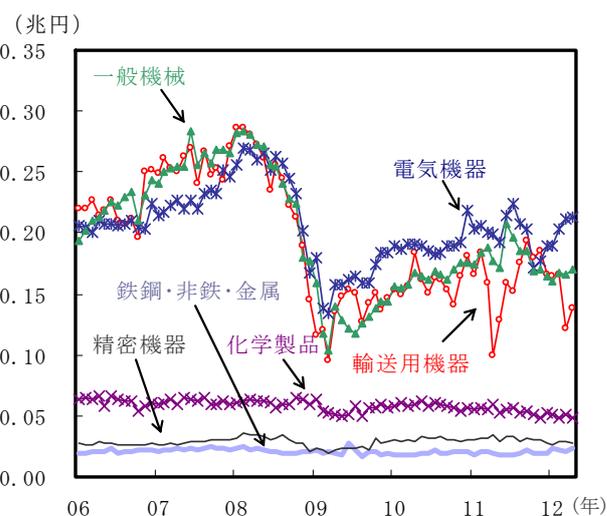
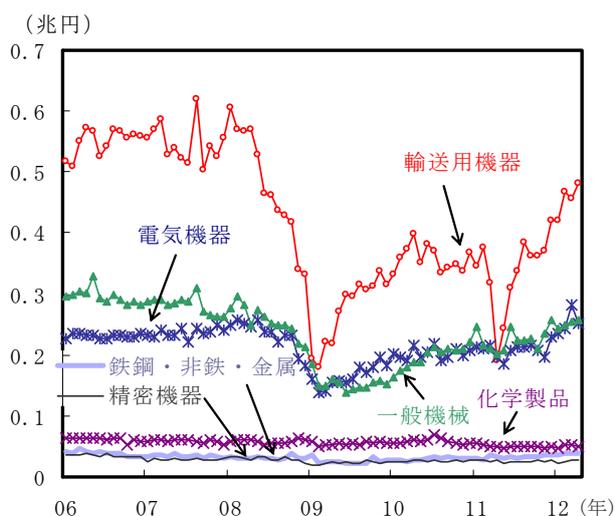


**主要地域・国別の実質輸出(季節調整済み)**

米国向け輸送用機械が好調

**米国向け**

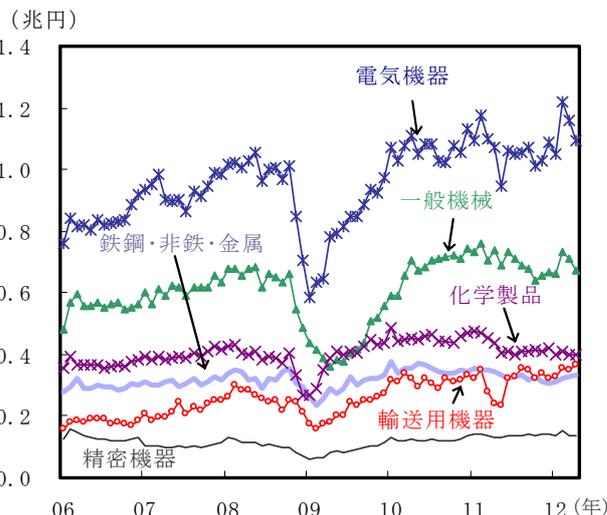
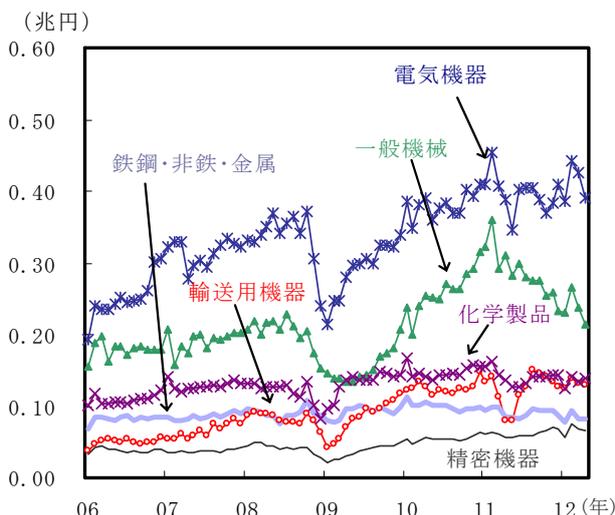
**EU向け**



(注) 実質化と季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

**中国向け**

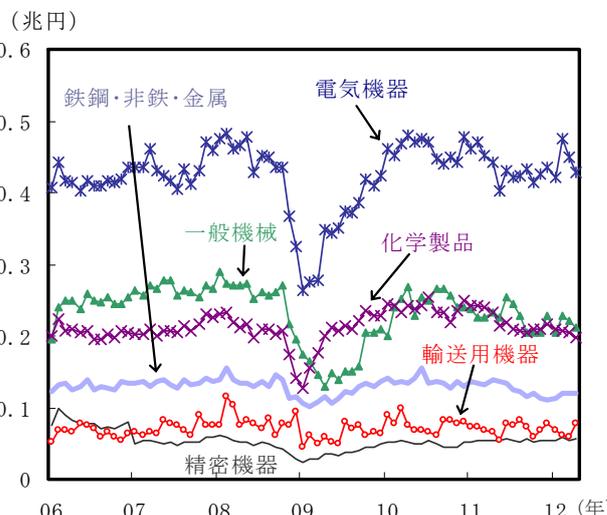
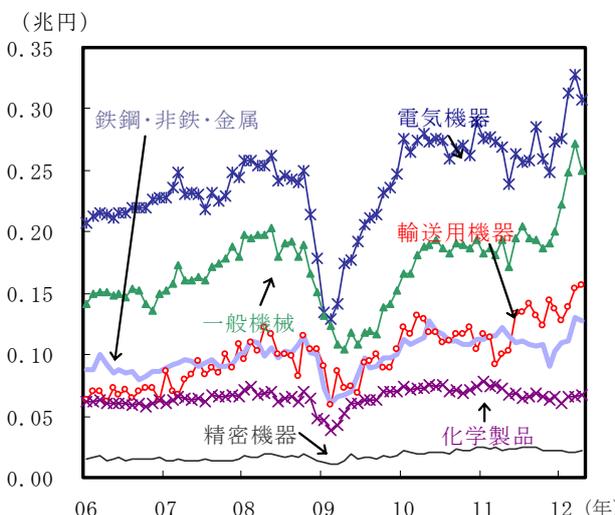
**アジア向け(中国含む)**



(注) 実質化と季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

**ASEAN向け**

**NIES向け**



(注) 実質化と季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2011/11	2011/12	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.5	▲8.0	▲9.2	▲2.7	5.9	7.9	100.0	7.9
食料品	▲9.5	▲14.6	▲26.7	▲14.9	▲12.7	9.8	0.6	0.1
原料品	7.2	▲5.3	▲1.2	▲2.6	12.4	12.0	1.6	0.2
鉱物性燃料	▲3.2	▲30.8	▲33.9	▲38.7	▲18.5	50.5	1.5	0.5
化学製品	▲12.6	▲14.0	▲17.5	▲14.9	▲8.4	▲16.1	10.1	▲2.1
原料別製品	▲4.7	▲8.1	▲10.9	▲6.4	▲0.1	▲5.2	13.0	▲0.8
鉄鋼	▲9.2	▲11.4	▲11.3	▲12.6	▲3.5	▲12.7	4.9	▲0.8
非鉄金属	▲4.3	▲8.2	▲14.8	2.9	2.6	2.8	2.2	0.1
金属製品	0.9	▲4.2	▲3.9	3.7	9.3	3.5	1.6	0.1
一般機械	▲4.1	▲6.4	▲8.7	▲1.5	4.5	▲2.4	20.6	▲0.5
電気機器	▲10.7	▲10.1	▲10.0	▲3.4	6.1	▲1.4	17.1	▲0.3
半導体等電子部品	▲15.1	▲13.0	▲15.8	▲6.0	▲9.2	▲10.6	4.8	▲0.6
I C	▲12.4	▲7.8	▲12.8	▲5.0	▲5.2	▲5.4	3.1	▲0.2
映像記録・再生機器	▲52.1	▲31.9	0.9	▲1.5	41.3	88.3	1.2	0.6
音響・映像機器の部分品	▲20.4	▲23.5	▲17.5	▲12.6	▲5.2	▲17.5	0.6	▲0.1
電気回路等の機器	▲4.1	▲7.2	▲10.8	▲4.6	3.5	▲5.2	2.5	▲0.1
輸送用機器	3.9	▲4.2	▲1.4	5.4	25.4	81.9	24.8	12.0
自動車	▲0.6	▲4.1	2.2	7.4	44.7	219.7	14.7	10.9
自動車の部分品	3.6	▲5.5	▲4.9	▲1.2	24.2	17.6	5.1	0.8
その他	▲5.5	▲5.9	▲11.5	1.7	▲1.1	▲9.5	10.8	▲1.2
科学光学機器	10.9	▲1.1	▲7.0	4.5	3.7	4.1	3.2	0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2011/11	2011/12	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.0	3.9	0.7	11.9	23.9	42.9	100.0	42.9
食料品	▲8.3	10.8	▲3.2	9.8	10.1	11.1	0.6	0.1
原料品	▲6.1	▲4.4	31.6	▲22.0	2.0	▲2.8	0.5	▲0.0
鉱物性燃料	830.8	▲34.8	▲25.3	▲35.0	107.3	▲70.7	0.1	▲0.2
化学製品	▲11.7	▲16.1	▲17.1	▲4.5	4.6	▲4.3	5.5	▲0.4
原料別製品	13.5	3.5	▲0.3	15.5	6.7	8.8	7.8	0.9
鉄鋼	30.8	14.8	19.1	75.9	▲5.1	12.9	2.3	0.4
非鉄金属	▲4.7	▲8.2	▲21.3	▲32.3	13.6	▲6.1	0.5	▲0.1
金属製品	22.7	12.5	1.9	18.7	24.7	25.2	1.8	0.5
一般機械	8.5	13.2	▲4.4	12.4	20.7	25.9	24.3	7.1
電気機器	▲8.8	1.7	1.1	7.2	25.6	19.3	15.3	3.5
半導体等電子部品	▲11.3	▲4.5	▲15.1	▲9.2	▲4.7	▲15.6	1.8	▲0.5
I C	▲11.8	▲9.9	▲26.9	▲5.4	▲5.3	▲19.8	1.0	▲0.4
映像記録・再生機器	▲58.6	▲34.8	17.9	▲3.4	54.1	147.1	1.8	1.5
音響・映像機器の部分品	▲6.1	▲9.7	▲7.9	▲11.0	95.2	▲14.3	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	8.3	2.0	▲3.6	8.9	12.1	13.6	1.6	0.3
輸送用機器	3.4	6.8	11.1	20.0	42.5	148.9	37.2	31.8
自動車	▲0.4	1.9	14.0	26.9	46.2	317.1	26.7	29.0
自動車の部分品	5.3	15.2	▲6.7	0.5	48.4	25.1	7.2	2.1
その他	▲6.2	▲11.8	▲11.2	▲2.1	4.4	0.3	8.8	0.0
科学光学機器	▲3.9	▲6.6	▲21.9	▲8.2	12.4	2.4	2.3	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2011/11	2011/12	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.6	▲12.7	▲7.6	▲10.7	▲9.7	▲1.9	100.0	▲1.9
食料品	1.7	8.3	▲15.1	3.6	▲17.5	63.9	0.2	0.1
原料品	24.8	▲27.6	4.9	15.4	27.2	7.4	1.0	0.1
鉱物性燃料	▲97.6	▲90.7	▲87.2	▲97.3	▲31.2	▲44.1	0.5	▲0.4
化学製品	▲11.8	▲11.7	▲13.5	▲16.5	▲7.1	▲21.4	8.8	▲2.4
原料別製品	▲2.0	▲6.0	1.9	▲1.8	▲3.3	5.3	8.5	0.4
鉄鋼	▲22.0	▲31.2	▲13.3	▲40.4	▲38.6	▲9.6	0.9	▲0.1
非鉄金属	15.7	43.7	126.9	174.9	139.2	95.5	1.6	0.8
金属製品	▲0.9	▲13.1	▲14.6	4.1	▲9.5	▲8.5	1.5	▲0.1
一般機械	▲5.8	▲9.0	▲11.2	▲11.0	▲11.2	▲5.2	26.3	▲1.4
電気機器	▲14.9	▲20.0	▲13.8	▲9.0	1.7	0.5	21.0	0.1
半導体等電子部品	▲24.6	▲29.7	▲30.2	▲22.7	▲38.3	▲43.2	2.4	▲1.8
I C	▲2.5	▲7.7	▲19.4	▲16.0	▲8.8	▲17.5	1.4	▲0.3
映像記録・再生機器	▲53.9	▲51.9	▲19.6	▲21.7	16.8	55.5	2.6	0.9
音響・映像機器の部分品	▲32.8	▲35.1	▲20.3	▲22.3	▲4.6	50.0	1.1	0.4
電気回路等の機器	▲11.9	▲10.7	▲16.6	▲18.0	▲5.6	▲8.9	1.9	▲0.2
輸送用機器	5.9	▲14.6	▲9.2	▲12.6	▲23.9	36.3	20.1	5.2
自動車	▲13.7	▲20.1	▲29.7	▲31.0	▲26.2	104.6	10.8	5.4
自動車の部分品	4.7	2.3	2.6	▲0.2	5.7	12.8	6.3	0.7
その他	4.9	▲6.0	11.9	▲1.9	▲6.7	▲21.5	13.6	▲3.6
科学光学機器	3.1	▲11.5	▲15.8	▲7.8	▲6.1	▲17.7	3.9	▲0.8

アジア向け輸出金額 内訳								
	2011/11	2011/12	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.1	▲11.7	▲13.7	▲6.6	0.5	▲2.6	100.0	▲2.6
食料品	▲7.9	▲19.6	▲30.2	▲22.7	▲16.8	8.0	0.7	0.1
原料品	4.9	▲1.1	▲4.8	▲0.6	13.9	17.2	2.6	0.4
鉱物性燃料	29.9	▲34.2	▲33.9	▲36.7	▲13.9	34.7	2.1	0.5
化学製品	▲13.0	▲15.3	▲19.6	▲16.5	▲10.7	▲12.5	13.9	▲1.9
原料別製品	▲9.2	▲13.9	▲15.9	▲10.9	▲6.0	▲8.6	16.5	▲1.5
鉄鋼	▲15.2	▲18.8	▲16.6	▲16.6	▲10.3	▲15.3	7.0	▲1.2
非鉄金属	▲1.7	▲11.8	▲21.2	▲1.0	▲3.9	3.3	3.4	0.1
金属製品	▲5.9	▲8.3	▲5.3	▲3.0	8.7	1.7	1.8	0.0
一般機械	▲10.5	▲12.9	▲12.9	▲6.1	1.9	▲9.9	20.7	▲2.2
電気機器	▲10.2	▲10.9	▲11.6	▲4.1	2.5	▲4.4	20.6	▲0.9
半導体等電子部品	▲14.3	▲12.0	▲14.6	▲4.3	▲6.6	▲6.2	7.6	▲0.5
I C	▲12.9	▲7.6	▲11.4	▲4.3	▲5.0	▲3.6	5.1	▲0.2
映像記録・再生機器	▲44.3	▲23.2	1.1	15.5	53.5	79.8	1.0	0.4
音響・映像機器の部分品	▲18.0	▲22.2	▲17.5	▲7.0	5.3	▲12.2	0.8	▲0.1
電気回路等の機器	▲4.6	▲7.6	▲9.8	▲5.0	2.1	▲9.2	3.4	▲0.3
輸送用機器	▲0.6	▲10.5	▲5.3	▲1.3	23.2	47.1	10.3	3.2
自動車	8.0	▲10.7	▲1.2	2.1	46.6	148.6	4.7	2.7
自動車の部分品	1.3	▲17.4	▲9.3	▲5.7	18.2	11.2	4.0	0.4
その他	▲6.2	▲1.2	▲10.9	7.8	3.6	▲1.6	12.7	▲0.2
科学光学機器	13.6	1.7	▲6.0	8.0	2.9	6.6	3.8	0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2011/11	2011/12	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.9	▲16.3	▲20.2	▲14.0	▲5.9	▲7.1	100.0	▲7.1
食料品	▲35.8	▲32.3	7.3	▲25.7	▲28.0	118.7	0.3	0.1
原料品	2.9	▲6.7	▲14.4	▲1.9	8.3	25.7	4.2	0.8
鉱物性燃料	48.7	▲68.6	▲23.4	▲27.8	▲36.0	32.6	1.4	0.3
化学製品	▲10.8	▲13.0	▲23.0	▲16.1	▲5.9	▲3.6	14.1	▲0.5
原料別製品	▲3.2	▲15.2	▲21.4	▲9.5	▲14.8	▲10.2	13.6	▲1.4
鉄鋼	▲13.4	▲17.7	▲25.9	▲15.7	▲21.4	▲15.7	4.7	▲0.8
非鉄金属	21.7	▲14.3	▲18.9	8.9	▲19.2	9.5	2.9	0.2
金属製品	▲4.8	▲13.3	▲17.0	▲14.2	▲2.5	▲11.8	1.8	▲0.2
一般機械	▲14.1	▲28.4	▲31.0	▲28.0	▲18.1	▲31.9	20.7	▲9.0
電気機器	▲9.8	▲7.8	▲13.3	▲9.3	1.9	▲5.8	22.4	▲1.3
半導体等電子部品	▲6.6	8.0	▲3.4	0.4	▲2.0	▲8.5	7.4	▲0.6
I C	▲6.7	14.9	4.3	▲0.7	1.1	▲7.7	4.9	▲0.4
映像記録・再生機器	▲52.9	▲15.2	▲2.7	37.9	63.8	115.6	1.6	0.8
音響・映像機器の部分品	▲14.7	▲17.3	▲29.9	▲25.9	▲5.8	▲7.8	1.0	▲0.1
電気回路等の機器	▲2.9	▲14.1	▲16.1	▲9.6	0.4	▲14.4	3.7	▲0.6
輸送用機器	▲2.5	▲19.0	▲13.5	▲5.0	16.9	56.9	11.0	3.7
自動車	▲8.5	▲23.4	▲17.0	▲8.2	22.8	254.0	5.1	3.4
自動車の部分品	3.2	▲16.2	▲8.6	▲7.8	14.0	6.3	5.5	0.3
その他	▲4.1	▲1.1	▲13.8	▲0.8	2.6	1.2	12.4	0.1
科学光学機器	18.1	7.5	▲8.0	16.7	9.8	15.5	5.4	0.7

(出所) 財務省統計より大和総研作成